



みどりの風

令和元年1月9日発行
校報 第570号
〔みどりの風 第113号〕
練馬区立関町北小学校

新しい年を迎えて

— 「感謝・尊重・探究」の心を大切に —

校長 大野 泰弘

去年今年 貫く棒の 如きもの 高浜 虚子

令和2年が始まりました。皆様には、よいお年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、開校60周年記念行事をはじめとするいくつもの学校行事や日々の各学級における教育活動に温かいご理解とご協力をいただきまして、あらためて厚く御礼を申し上げます。

さて、その2学期に行われた開校60周年記念行事における記念式典の場で、私は在校生代表として参加した5年生と6年生に次のようなメッセージを伝えました。

〔前略〕 これまでの60年の歴史を受け継ぎながら、令和という新しい時代を切り拓いていくのが、皆さん一人一人です。来年には東京オリンピック・パラリンピック、5年後には大阪万国博覧会も開かれます。50年ほど前の国家的イベントが再び行われますが、そこでは、我が国が誇る最先端の科学技術が見られることでしょう。AIも発達し、現在にはない新しい仕事も増えているかもしれません。皆さんの歩む時代には、大きな夢や希望をもつことができるのではないのでしょうか。その時代を生きる皆さんに、今求めたいことが三つあります。それは、「感謝・尊重・探究」の心をもち続けることです。

一つめの「**感謝**」。家族はもとより、日々多くの人に支えられていることへの感謝、今、生きていること・生かされていることへの感謝、平和であることへの感謝とも言えるでしょうか。平成の大きな災害時だけでなく、今日の世界には、今を、明日を生きたくても生きられない、多くの子どもたちがいます。世界はグローバル化していきますが、そういう世界の状況を受け止めつつ、今を生きていることへの感謝の気持ちをもち続けてほしいと思います。

二つめの「**尊重**」ということ。私たちの身のまわりには、自分と同じ意見や考えをもつ人ばかりではありません。ましてや、これからは歴史や文化、伝統、生活様式等が異なる世界の人々とかかわる場が多くなってきます。そこでは、自分とは違う思いや考えを尊重していくこと、認め合うことが求められます。互いの人格や存在を尊重し合うことができる、心の広さをもってほしいと思います。

三つめは「**探究**」ということです。皆さんはこれからも多くのことを体験しながら、学びを深めていきます。その中で、どうしてこのようなことが起こるのか、どうしたらよりよい答えが得られるのか、一つだけの正解を求めるのではなく、初めて出会った問題や課題に対する問いをもち続けながら、今、身に付けている知識等を使って、柔軟に、しなやかに答えを求めていくことが大切になります。そして、何のために生きるのか、どのように生きていったらいいのか、そのようないわば真理を探究する、よりよい生き方を探究する心をもってほしいと思います。それが、よりよい社会、国家、世界を創っていくことにつながるのではないかと思います。

今日、関町北小学校は校舎の全面改築工事をしていて、2年間は仮設校舎での生活となりますが、その後は、新しい校舎での生活が始まります。建物が新しくなるだけでなく、皆さん一人一人の後輩が、新たな学校を創造していくという気持ちをもっていくことができるよう、この周年行事を機会として、感謝・尊重・探究の心を大事にして、失敗を恐れずにチャレンジする毎日を過ごしてもらえればうれしく思います。〔後略〕

この思いは、周年行事だけでなく、今もお持ち続けています。このことに加え、昨年1月にお示した「**Change**〔変化〕 **Continuation**〔継続〕 **Conversation**〔対話〕 **Creation**〔創造〕」の思いをもって、今年1年間、まずは3学期の教育活動を展開してまいりたいと考えております。

令和2年の1年間、子どもたちは仮設校舎で生活することになりますが、これまで以上に学ぶ楽しさ、喜び等を感じることができるよう、教職員一同、一つ一つの教育活動に専念してまいりたいと考えております。旧年にも増して、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。